

シンポジウム 4: 慢性腎不全の治療: 保存期治療～移植まで

臓器提供者数を増やしたい! ～大分県の挑戦～

大分大学医学部 臓器移植医療連携強化事業¹⁾ 大分大学医学部 腎泌尿器外科学講座²⁾ 大分大学医学部³⁾安藤 忠助^{*1)}・秦 聡孝²⁾・三股 浩光³⁾

抄録:

腎移植において、健康体を傷つけないという観点から献腎移植が理想である。大分県は死体ドナー数が極めて少なく、献腎移植件数も非常に少ない。そこで大分大学医学部、大分県、大分県医師会の協力のもとに県内の死体ドナー数を増やすことを目的とする大分大学医学部 臓器移植医療連携強化事業が設置された。本稿では大分県の現状と死体ドナー数を増やすための事業の取り組みについて紹介する。

(西日泌尿, 87: 146-147, 2025)

キーワード: 献腎移植, 死体ドナー, 臓器提供可能病院, 啓発活動

腎移植を含む全ての臓器移植においてドナーは必須であり、健康な親族から臓器提供を受ける生体移植と死体ドナーから臓器提供を受ける死体移植の2つがある。死体移植は都道府県ごとに移植可能な臓器と病院が指定され、大分県では大分大学医学部附属病院(当院)での死体腎移植(献腎移植)が可能である。当院では1981年10月の開院日から2024年10月31日までに173件の腎移植(生体移植154件、献腎移植19件)を行った。

健康体を傷つけないという点で献腎移植が理想であるが、死体ドナーからの提供腎は同一都道府県内に優先的に斡旋される仕組みとなっている。したがって大分県で献腎移植を推進することは、大分県内の死体ドナーを増やすことと同義である。

2023年の秋に厚生労働省が示したデータでは¹⁾、大分県の人口100万人当たりの都道府県別のこれまでの死体ドナー総数は西日本で最下位・全国で下位から2番目であった。実際、大分県内では2018年から2023年までの死体ドナー数および献腎移植件数は0件であり、大分県内で献腎移植を希望しているものが移植を受けられていないという問題点と他県との献腎移植格差が浮き彫りとなった。

このような経緯から大分県医師会、大分大学医学部、大分県として対応の必要性について協議を重ね、2024年4月1日に大分県からの受託事業として大分大学医学部に臓器移植医療連携強化事業が設置された。事業目的

は大分県内の死体ドナーを増やすことであり、腎移植専門医の専任医師(教授)1名で事業活動を行っている。

具体的な事業内容として、県内全ての臓器提供可能な病院(27施設)を訪問し、大分県の臓器移植事情の説明をして臓器提供候補者となりうる患者がいる時点で本事業に連絡していただく様をお願いし、積極的な介入を行った。また、それぞれの病院の臓器提供に関する手順の把握と改訂の提案を行った。また、一般の方への啓発活動として市民公開講座、各種学校での臓器移植に関する出前講義、各種医療機関の院内勉強会を積極的に行った。

これらの結果、10月末までの半年間で例年の3倍以上のドナー情報の提供をいただき、うち2件の臓器提供(心停止下、脳死下提供それぞれ1件ずつ)と献腎移植2件の成果が得られた。

さらに行政の立場として臓器搬送の際にも県警の協力を得て、パトカーの先導協力もしていただけた。

また臓器摘出や移植手術に際しては、「医師の働き方改革」を意図した人員確保に努め、若手医師も積極的に献腎移植に参加させている。

今後、年3件の死体ドナー件数およびその維持を目標に事業活動を継続する予定である。

文 献

- 1) 第64回厚生労働省 臓器移植委員会 参考資料
1 <https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001117570.pdf>

* 〒879-5593 大分県由布市挾間町医大ケ丘1丁目1番地
TEL 097-586-5893, FAX 097-586-5899
E-mail chyusuke@oita-u.ac.jp

ORGAN TRANSPLANTATION PROMOTION PROJECT OF OITA PREFECTURE

TADASUKE ANDO

Organ transplant promotion project, Faculty of Medicine, Oita University, Oita, Japan

TOSHITAKA SHIN

Department of Urology, Faculty of Medicine, Oita University, Oita, Japan

HIROMITSU MIMATA

Faculty of Medicine, Oita University, Oita, Japan

Abstract

In Oita prefecture, both the number of cadaver donors and the cadaveric kidney transplants have been very low. Therefore, organ transplantation promotion project was established in Oita university, which aims to increase the number of cadaveric donors. This article describes the current situation and project initiatives in Oita prefecture. (Nishinohon J. Urol. **87**: 146-147, 2025)

key words: cadaveric kidney transplantation, cadaveric donors, organ donation hospitals, awareness raising activities
